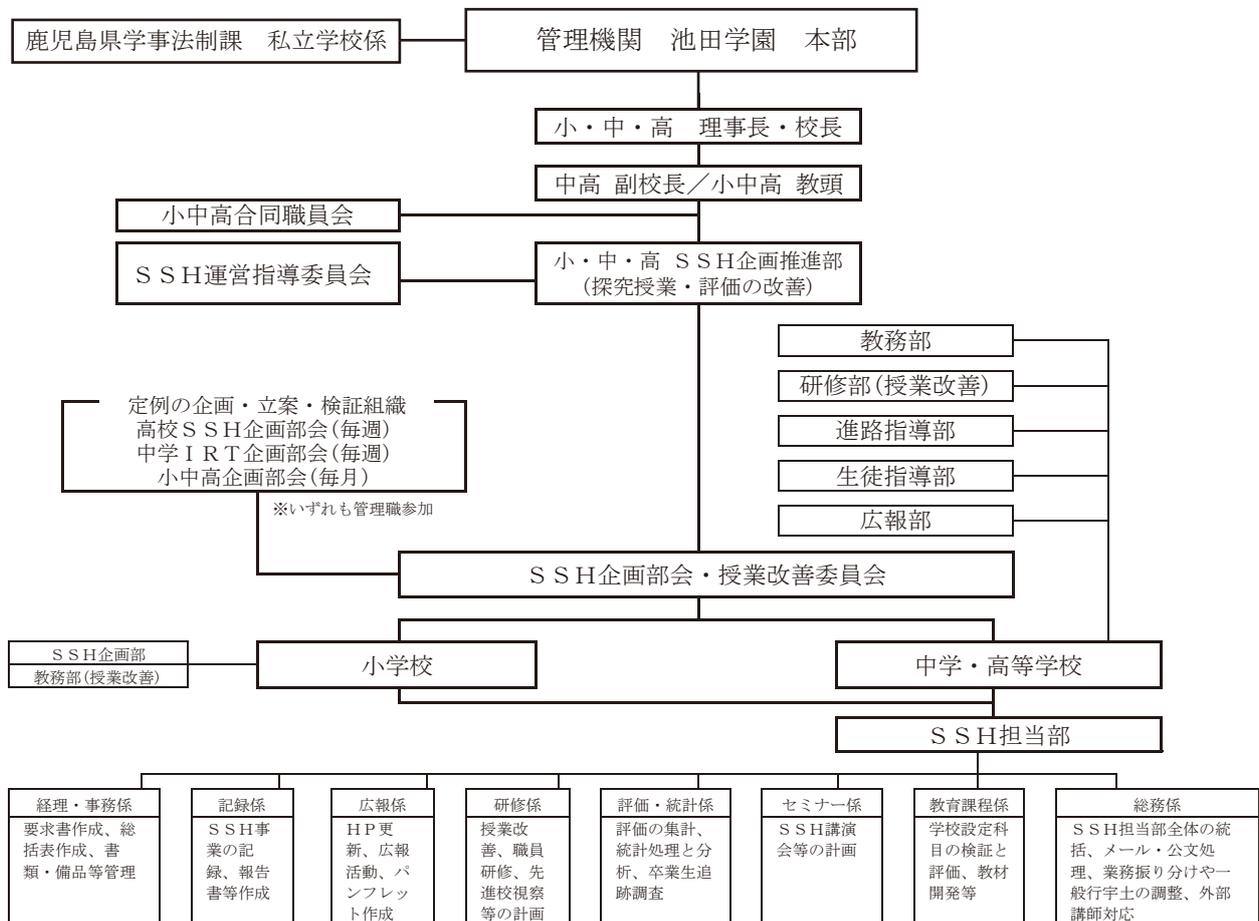


第 5 章 校内におけるSSHの組織的推進体制

1 校内の組織図



2 学園全体でSSHに組織的に取り組む体制

(1) SSH企画部会(週1回)

構成：理事長・校長、副校長、中高教頭、小学校教頭、中学校教務主任、高校教務主任、SSH主任、SSH副主任、課題研究第一担当者、海外研修担当、研修部主任、IRT主任、SSH専任事務
活動：原則として週1回実施。SSH事業の進捗状況の管理、学校行事との調整、事業計画書の審議・協議、校務分掌間の連絡調整などを行う。

(2) IRT企画部会(週1回)

構成：管理職、IRT主任、中学1年～3年各担任、SSH主任
活動：原則として週1回実施。IRT活動の進捗状況の確認、事業計画書の審議・協議、小学校・高校との連携についての協議を行う。

(3) 研修部会(週1回)

構成：副校長、研修部主任、各教科代表者、マルチメディア担当、SSH主任、教務主任
活動：原則として週1回実施。授業改善や職員研修について、企画立案などを行う。

(4) 小中高 SSH企画推進部会

構成：理事長・校長、副校長、中高教頭、小学校教頭、SSH主任、IRT主任、小学校SSH担当
活動：毎月実施。学園全体のSSH事業の方向性の確認と、評価システムの実施と分析に基づく事業改善の協議を行う。

(5) SSH運営指導委員会

構成：運営指導委員、理事長・校長、副校長、中高教頭、小学校教頭、SSH主任、SSH副主任、国際交流担当、IRT主任、高校教務主任、中学教務主任
活動：年2回、7月と3月に実施。第1回(7月)は、主に個々の高校課題研究への指導・助言の場として位置付けている。第2回(3月)は、本校SSH事業の運営のあり方への指導・助言の場とし、機能を分けて実施している。運営指導委員も、第2回参加者は学部長レベルを招聘することとしている。